

エコアクション21

環境活動レポート



株式会社共栄サービス

対象期間：令和5年4月～令和6年3月

発行日：令和6年10月1日

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 共栄サービス

代表取締役社長 諸橋 宏則

(2) 所在地

本社・事務所 〒278-0013 千葉県野田市上三ヶ尾 2 6 8 番地の 2

野田中間処理工場 同上

(3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 取締役 鈴木典夫

担当者 総務部 石田和明

TEL 04-7121-6703

FAX 04-7121-6705

(4) 設立 昭和 63 年 9 月 20 日

(5) 資本金 20,000,000 円

(6) 事業内容

- ・建設系産業廃棄物の収集運搬
- ・建設系産業廃棄物の中間処理
- ・廃石膏ボードの再生事業

(7) 事業の規模

売上高 1,256,064 千円(第 36 期実績)

産業廃棄物収集量 19,879.01t

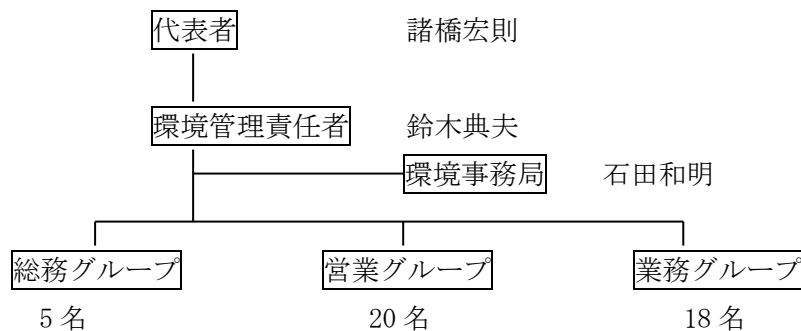
中間処理量 17,620.42t

石膏ボード原料生産量 3,603t

従業員 50 名

敷地面積 3,833 m²

(8) 環境取組体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境目標・環境活動計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境活動レポートの承認

環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理
(社長)	・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・ 環境目標・環境活動計画書を確認
	・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・ 環境活動レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局
	・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・ 環境目標、環境活動計画書原案の作成
	・ 環境活動の実績集計
	・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・ 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・ 自部門における環境方針の周知
	・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・ 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・ 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・ 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	試行・訓練を実施、記録の作成
	・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

（９）許可内容

①産業廃棄物収集運搬業登録

〔地域〕	〔許可番号〕	〔許可年月日〕	〔許可有効期限〕	〔許可品目〕
千葉県	012100012467	令和 6 年 2 月 27 日	令和 13 年 2 月 26 日	※1
東京都	01300012467	令和 4 年 5 月 29 日	令和 9 年 5 月 28 日	※1
埼玉県	01107012467	令和 4 年 2 月 28 日	令和 9 年 1 月 13 日	※1
茨城県	00801012467	令和 6 年 2 月 7 日	令和 12 年 12 月 24 日	※1
栃木県	00900012467	令和 4 年 2 月 16 日	令和 9 年 1 月 21 日	※1

〔地域〕	〔許可番号〕	〔許可年月日〕	〔許可有効期限〕	〔許可品目〕
群馬県	01000012467	令和 6 年 6 月 9 日	令和 13 年 6 月 8 日	※1
神奈川県	01400012467	令和 2 年 10 月 29 日	令和 7 年 8 月 3 日	※2

許可品目

※1	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい、がれき類、ばいじん
※2	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

②産業廃棄物処分業許可証

- ・千葉県許可番号 第 01220012467 号
- ・許可年月日：令和 2 年 6 月 1 1 日
- ・許可有効期限：令和 7 年 5 月 7 日
- ・事業の区分：破砕及び圧縮による中間処理
- ・産業廃棄物の種類

破砕による中間処理に係るもの：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

圧縮による中間処理に係るもの：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（グラスウールに限り）

③廃棄物再生事業者登録証明書

- ・千葉県登録番号 第 74 号
- ・登録年月日：平成 1 4 年 8 月 2 1 日
- ・事業の内容：石膏ボードの再生

(10) 施設等の状況

①収集運搬車両及び重機

車両	台数	重機
4 トンコンテナ	6	スケルトンバケット ZX225US-6
3 トンコンテナ	2	油圧フォーク ZX225US-6
1 0 トンコンテナ	3	油圧フォーク ZX135US-6
4 トンダンプ	1	油圧フォーク ZX135US-8 マグネット付
3 トンダンプ	1	バッテリーフォークリフト FE30
2 トンダンプ	2	バッテリーフォークリフト FE25
3 トンロング	1	ホイールローダー 9 1 0 2 台
3 トン平ゲート	1	
3 トンユニック	3	
4 トンユニック	1	
計	21 台	

②施設の種類及び処理能力

野田中間処理工場

各現場より回収、または持ち込まれた廃棄物の中間処理を行います。作業員が廃棄物ごとに手作業で異物を取り除き、廃棄物の種類や性状に適した破碎・圧縮処理を行い、再生処理施設へと運搬、リサイクルいたします。

処理品目	処理方法	処理方法
廃プラスチック	破碎・圧縮	12.6t/日
木くず	破碎・圧縮	17.8t/日
繊維くず	破碎・圧縮	11.56t/日
金属くず	破碎	18.1t/日
ゴムくず	破碎・圧縮	2.7t/日
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎	9.9t/日
がれき類	破碎	10.8t/日
安定型混合	破碎・圧縮	54.1t/日
管理型混合	破碎・圧縮	194.16t/日

処理フロー



廃石膏ボード

当社では地球環境の保全を考え、廃石膏ボードの100%リサイクルを行っています。長年のノウハウと高い技術力で、今後もより多くの端材が再利用されるように努力してまいります。

石膏ボード	
処理方法	破碎
処理能力	96t/日

処理フロー



③保管施設明細

	施設の種類	産業廃棄物の種類	保管量
処理 前 の 保 管 施 設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず及び繊維くず保管施設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず及び繊維くず	210.0 m ³ 220.0 m ³
	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、がれき類保管 施設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、がれき類	159.0 m ³ 153.0 m ³
	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず保管施設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず (8 m ³ コンテナ 1 台)	7.6 m ³ 8.0 m ³
	廃プラスチック類保管施設	廃プラスチック類 (8 m ³ コンテナ 1 台)	7.6 m ³ 8.0 m ³
	紙くず保管施設	紙くず (8 m ³ コンテナ 2 台)	16.0 m ³ 16.0 m ³
	金属くず保管施設	金属くず (8 m ³ コンテナ 2 台)	16.0 m ³ 16.0 m ³
	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、がれき類保管 施設	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、がれき類 (8 m ³ コンテナ 5 台)	40.0 m ³ 40.0 m ³
	廃プラスチック類、繊維くず (廃置) 保管施設	廃プラスチック類、繊維くず (廃置)	26.0 m ³ 80.0 m ³
	金属くず保管施設	金属くず (8 m ³ コンテナ 1 台)	7.6 m ³ 8.0 m ³
	ゴムくず保管施設	ゴムくず (2 m ³ コンテナ 1 台)	2.0 m ³ 2.0 m ³
	廃石膏ボード保管施設	石膏ボード	348.0 m ³ 963.0 m ³
処理 後 の 保 管 施 設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類保管施設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類	73.0 m ³ 88.0 m ³
	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず、 がれき類保管施設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず、 がれき類	48.0 m ³ 53.0 m ³
	金属くず保管施設	金属くず (10 m ³ コンテナ 1 台)	8.0 m ³ 10.0 m ³
	廃プラスチック類、ゴムくず、 ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、金属くず、 がれき類保管施設	安定型	80.0 m ³ 150.0 m ³
	紙くず保管施設	紙くず	16.0 m ³ 50.0 m ³
	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず保管施設	廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず	120.0 m ³ 360.0 m ³
	廃石膏ボード保管施設	(50m ³ タンク 2 基)	100.0 m ³
	木くず保管施設	木くず (8 m ³ コンテナ 1 台)	7.6 m ³ 8.0 m ³
	廃プラスチック類保管施設	廃プラスチック類 (8 m ³ コンテナ 1 台)	7.6 m ³ 8.0 m ³

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

認証・登録番号：0009732

認証・登録年月日：2013/11/11

認証・登録事業者名：株式会社共栄サービス

対象事業所名：本社・野田中間処理工場

所在地：千葉県野田市上三ヶ尾268番地の2

事業活動内容：産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の中間処理、廃石膏ボードの再生事業

3. 環境経営方針

基本理念

「静脈産業の重要性を強く意識した事業展開を推し進める」

有効な資源を持続可能な形で適正な処分をすることで廃棄物の減容・減量・再資源化に取り組み、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を軽減させることを目的とする。

また、会社・お客様・社員ニーズ（価値）創造をより充実させ、コンプライアンスを徹底した事業活動の取組を図る。特にあらゆる分野に伝わっていない価値を伝え、伝える相手を変えることで、目的達成へ繋がると認識する。

・会社の経営環境を創造・お客様の利用環境を創造・社員の職場環境を創造

深刻な人手不足が続く中、材料費や燃料高騰も受注金額に反映できない状態ではあるが、価値の創造を目指すことで雇用促進やサービスの向上を図るものとする。

行動指針

1. 環境への取組として経営における課題とチャンス را踏まえ、下記の活動に取り組みます。

①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②収集運搬車・重機・その他自動車の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減

③自社から発生する廃棄物の削減

④受託産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率の向上を図る。

⑤水資源の節水

⑥グリーン購入の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境方針を全従業員に周知し、教育、啓発活動を通じて環境に関する意識の向上を図ります。

2020年4月1日 制定
株式会社 共栄サービス
代表取締役 諸橋 宏則

4. 環境目標

目標項目+B7:H18			令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標
二酸化炭素排出量の削減	電力	kWh	209,576	207,480	205,405	203,351
	ガソリン	ℓ	6,126	6,065	6,004	5,944
	軽油	ℓ	173,307	171,574	169,858	168,160
	灯油	ℓ	1,695	1,678	1,661	1,645
	合計	kg-CO ₂	557,987	552,409	546,882	541,417
一般廃棄物の削減		kg	194	192	190	188
産業廃棄物排出量の削減		t	2,500	2,475	2,450	2,426
水使用量の削減		m ³	3,329	3,296	3,263	3,230
廃石膏ボードの資源化率		%	100	100	100	100
グリーン購入の推進		%	86	87	88	89

※ 電力の二酸化炭素換算係数 0.441 kg-CO₂/kWh

5. 環境活動計画

目標を達成するための取組

①二酸化炭素排出量低減

- ・冷房温度は25度、暖房温度は22度を徹底する。
- ・昼休み及び外出時の消灯を実施する。
- ・節電の貼紙を掲示する。

②車輛運転における二酸化炭素排出量低減

- ・エコドライブ(急発進、急加速、急ブレーキ等の防止)
- ・エコドライブ勉強会の実施
- ・燃料使用量の分野に関し、毎月の使用量を従業員全員が把握できるようにする。

③産業廃棄物排出量の削減

- ・中間処理における分別化の徹底

④水使用量の削減

- ・洗車時の水の排出量の削減の呼びかけ

⑤廃石膏ボードの資源化

- ・廃石膏ボードからボード原料へ100%リサイクルをめざす。

⑥グリーン購入の推進

・事務用品などは環境に配慮した商品を購入する。

6. 環境目標の実績

(1) 令和5年度の実績と目標達成率

目標項目			令和 5 年度	令和 5 年度	実績／目 標	達成状況	○× 判定
			目標	実績			
二酸化炭素排出 量の削減	電力	kg-CO ₂	90, 583	89, 901	100%	達成	○
		kWh	203, 351	203, 858			
	ガソ リン	kg-CO ₂	13, 929	17, 571	127%	27%超過 達成	×
		ℓ	5, 944	7, 574			
	軽油	kg-CO ₂	438, 234	584, 741	134%	34%超過 達成	×
		ℓ	168, 160	226, 644			
	灯油	kg-CO ₂	4, 136	5, 106	124%	24%超過 達成	×
		ℓ	1, 645	2, 051			
	合計	kg-CO ₂	541, 417	697, 319	128%	28%超過 達成	×
	一般廃棄物の削減		kg	188	429	228%	128%超 過達成
産業廃棄物排出量の削減		t	2, 426	5, 282	221%	121%超過 達成	×
水使用量の削減		m ³	3, 230	3, 544	106%	6%超過 達成	△
廃石膏ボードの資源化率		%	100	100	100%	達成	○
グリーン購入の推進		%	89	60	68%	未達	×

◎良く出来た ○(±5) まあまあできた △(～±20) あまりできなかった ×(±21～) 全くできなかった。

(2) 環境目標の担当部署及び責任者

目標項目	担当部署	責任者
✧ 二酸化炭素排出量(電気)	業務グループ	鈴木典夫
✧ 二酸化炭素排出量(燃料)	営業グループ	渡辺一徳
✧ 一般廃棄物排出量	総務グループ	砂生ひとみ
✧ 産業廃棄物排出量	業務グループ	富田孝義
✧ 水使用量	業務グループ	富田孝義
✧ グリーン購入推進	総務グループ	砂生ひとみ

7. 環境活動計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

(1) 環境活動計画の取組結果

1) 電気使用量・灯油

時間外の減少によるもの、分別の効率化（一部）

2) 車両・重機燃料

軽油の消費量の増加は、大型車両増車、顧問使用車両の増車

3) 一般廃棄物

シュレッダーゴミ等の増加によるもので、今後削減していく。

5) 産業廃棄物

廃棄物の搬入量の増加により安定型、管理型への搬出も増加した。場内選別作業の精度を上げていく。

4) 水使用量

水使用の主たるものは場内の散水であるが、今後も節水を心掛ける。

5) 廃石膏ボード

目標達成

6) グリーン購入

グリーン購入については、グリーン商品の購入を消耗品等の発注時に意識的に購入し、今後も続けていく。

(2) 次年度の取組内容

1) 電気使用量 LED化とは別に尚一層の節電を朝礼等で従業員に周知する。人感センサーを利用。

冷暖房の温度管理→暖房時は22℃、冷房時は25℃の徹底。

2) 車両燃料 場内重機オペレーター、ドライバーへのエコ運転の推進。

3) 産業廃棄物 中間処理における分別化の徹底によるリサイクル率の向上

一般廃棄物は事務所内ゴミ分別の徹底

4) 水使用量 場内散水量が多いので、節水にも配慮する。

5) 廃石膏ボード リサイクル率向上に努める。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業
自動車 NOx・PM 法	収集運搬車
オフロード法	バックホウ
騒音規制法	破碎機、空気圧縮機、送風機
振動規制法	破碎機、空気圧縮機、送風機
野田市環境保全条例	騒音及び振動特定施設届け出（破碎機、空気圧縮機、送風機他）
消防法	指定可燃物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機

自動車リサイクル法	車両
-----------	----

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も創業以来ありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

搬入量の増加に伴い燃料消費量も増加したが、選別の一部効率化を図ったので、その時間外が減少し、残業時の照明時間の減少により電力費が減少した。

10. 次年度の環境経営目標

目標項目			令和5年度 実績（基準 値）	令和6年度 目標 1%減	令和7年度 目標 2%減	令和8年度 目標 3%減
二酸化炭 素排出量 の削減	電力	kWh	203,858	201,819	199,781	197,742
	ガソリン	ℓ	17,571	17,395	17,220	17,044
	重機の軽油 使用量	ℓ	173,307	171,574	169,841	168,108
	灯油	ℓ	2,051	2,030	2,010	1,989
	合計（総排 出量）	kg-C O ₂	697,349	690,376	683,402	676,429
一般廃棄物の削減		kg	430	426	421	417
収集運搬量の拡大※1		t	19,879	20,078	20,277	20,475
中間処理再資源化率 の向上 ※1		%	70.0	70.7	71.4	72.1
水使用量の削減		m ³	3,544	3,509	3,473	3,438
廃石膏ボードの資源 化率 ※1		%	100	100	100	100

※1 各年度1%拡大とする